

防火について考えたこと

野澤京汰

私は、二〇二五年の三月から四月にかけて発生し、住宅地など多くの被害を出した岡山市の火事について考えたことが三つあります。一つ目は、なぜこのような火事が起こってしまったのかについてです。今回の火事は、伐採していらなくなっていた木を燃やしていたら森林に風で燃え移って大変な火事になった。そしてまた、たいていのです。このことから危険な状況

況でものを燃やすことは、火事になってしまいかねないのだから、良いことだと考えます。二つ目は、このような火事が起こらないように自分たちが出来ることにしています。今回の火事では、いんな大きな被害が出てしまいました。た。今後起こらないようにするためには、ものを燃やすときには絶対に油断しないことはもちろん、必ず子供だけでなく大人と一緒に火を使用すること加大切だと思います。例えば、私が家族と一緒にキャンプに行き、たき

火を使う時、キャンプ場が決めた火の取りあ
つかいに関するルールを守り、いま
した。そういったことも火事を防ぐために私
たちができる取り組みの一つだと思います。
三つ目は、もし実際に身近で起こったしま
った時どうするべきかについてです。本当に
火事を起こさないことも大切です。もし起
こってしまった時にどうするかを知っておく
ことも大切です。実際に身のまわりで火事が
起こった時、しまった時には、災害対策の一環と
して、防火頭巾の着用・消火器の準備。ひな
ん場所のはあくなどが役に立ちます。なので
あらかじめそういった準備を行っておくこ
とはとても大切なことだと思います。
今後このような火事を起こさないために
私たちはふたから防火について意識してお
くことや、地域で行なっていることに興味を
もつことはとても大切だと思います。これ
から私は、火事の起こらない安全な環境をみ
んなで協力して作っていきたいと思います。